

10款 5項 1目 社会教育総務費

社会教育振興事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 253 ページ

予算現額	5,252,000円		決算額	5,193,793円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	58,207円			県支出金	
前年度 比 較	決算額	6,134,815円		地方債	
	増減額	△941,022円		その他	
	増減率	△15.34%	一般財源	5,193,793円	

<目的>

社会の要請や地域住民のニーズに対して、学習の機会や場を提供し、社会教育の充実を図ります。

<内容>

社会教育の振興を図るため、学習機会の提供とともに、社会教育事業を主体的に行う関係団体を支援し、社会教育活動の促進を図ります。

<実績・成果等>

1 ジュニアリーダー養成事業の開催

狭山市子ども会育成会連絡協議会との共催により、レクリエーションの指導技術、彩の国21世紀郷土かるた審判員等の講習会を開催しました。

事業名	期間	回数	会場
狭山市ジュニアリーダー 初級講習会	平成29年5月28日～ 平成30年3月18日	10回	農村環境改善センター、 入間川小学校ほか

2 平和推進事業の開催

市民に広く平和について考える機会を提供し、平和に関する意識の高揚を図るため、中央図書館を会場に平和祈念講演会を開催しました。朗読と講演を行うとともに、関連する図書館資料を紹介しました。

内容	期日	参加人数
平和祈念講演会 朗読「ヒロシマー『さがしています』(アサー・ビナード/作)より」 講演「伝え続ける—丸木夫妻が残したもの—」	平成29年12月3日	62人

3 社会教育関係団体の支援

社会教育関係団体に補助金を交付し、各団体の活動を支援しました。

狭山市PTA連合会	325,000円
狭山市子ども会育成会連絡協議会	345,000円
狭山市地域文庫連絡会	65,000円
狭山市立幼稚園PTA連合会	51,000円
狭山市ボーイスカウト・ガールスカウト連合会	181,000円

10款 5項 1目 社会教育総務費

成人式開催事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 253 ページ

予算現額	575,000 円		決算額	525,265 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	49,735 円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比 較	決算額			612,750 円	地方債	
	増減額			△87,485 円	その他	
	増減率	△14.28%	一般財源	525,265 円		

<目的>

成人に達した青年男女の新しい門出を祝福するとともに、成人としての自覚と市民としての意識の高揚を図ります。

<内容>

成人式を挙げて、青年男女の新しい門出を祝福し、成人としての自覚と市民としての意識の高揚を図ります。

<実績・成果等>

第64回狭山市成人式を平成30年1月7日(日)に狭山市市民会館で開催しました。

性別	該当者数	出席者数	出席率
男	721 人	459 人	63.66 %
女	723	489	67.63
合計	1,444	948	65.65

10款 5項 1目 社会教育総務費

生涯学習推進事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 255 ページ

予算現額	3,338,000 円		決算額	3,008,320 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不用額	329,680 円			県支出金	
前年度 比較	決算額			5,054,521 円	地方債
	増減額	△2,046,201 円	その他	48,000 円	
	増減率	△40.48%	一般財源	2,960,320 円	

<目的>

誰もが、生涯をとおして豊かに学び、学びをとおして、自分を磨き高めるとともに、学びの成果を社会のなかで活かすことができるよう、生涯学習の充実を図ります。

<内容>

生涯学習に取り組む機会や学習の成果を発表する場の充実、生涯学習に取り組む市民団体の活動の促進に向けて各種講座等を開催します。

<実績・成果等>

- 生涯学習ボランティア制度の充実
さまざまな経験や知識・技能を持ち社会参加に意欲のある人材を募集して、学習指導者として登録し、市民の学習の場での活用を通じて市民の学習活動の促進を図りました。本年度の登録者は138人、登録件数（指導分野）は181件となりました。
- 生涯学習まちづくり出前講座の実施
職員が地域に出向き、市の業務内容や取組みをわかりやすく説明する「生涯学習まちづくり出前講座」を実施しました。出前講座のメニュー講座とリクエスト講座を合わせて、516件、35,928人が受講しました。
- 生涯学習の場としての学校施設の開放
市民の文化活動やスポーツ・レクリエーション活動の促進を図るため、入間川小学校の施設の一部（特別教室及び講堂）を開放し、延べ542団体、16,616人が利用しました。
- 現代的課題等の講座の実施
地域活動につながる人材育成を視点において、現代的課題や地域課題をテーマに公民館や関係団体等と連携して講座を実施しました。環境にやさしいライフスタイル講座は6回開催し、延べ182人が、駅前発！楽しく学ぶ自分磨き講座は5回開催し、延べ182人が参加しました。
- 子ども大学の開校
小学校4年生から6年生を対象に、子供の知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する「子ども大学さやま・いるま」及び「子ども大学さやま」を開校しました。「子ども大学さやま・いるま」は、東京家政大学及び入間市教育委員会との共催により、7月22日から11月18日までの間の4日間開催し、狭山市から30人、入間市から30人の合計60人が受講しました。また、「子ども大学さやま」は、武蔵野学院大学、武蔵野短期大学及び飯能信用金庫との共催により、10月7日から12月16日までの間の5日間開催し、51人が受講しました。
- 市民文化祭の支援
各公民館、図書館、市民会館の13会場の実行委員会に補助金を交付し、開催を支援しました。681団体が活動成果を発表し、30,074人が来場しました。
市民文化祭（13会場） 1,060,000 円

10款 5項 1目 社会教育総務費

生涯学習活動支援事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 255 ページ

予算現額	3,656,000 円		決算額	3,542,099 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	113,901 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			3,577,668 円	地 方 債	
	増減額			△35,569 円	そ の 他	
	増減率	△0.99%	一 般 財 源	3,542,099 円		

<目的>

誰もが生涯をとおして豊かに学び、学びをとおして、自分を磨き高めるとともに、学びの成果を社会のなかで活かすことができるよう、生涯学習活動の支援体制を充実します。

<内容>

生涯学習に関する情報提供の充実に向けてポータルサイトの更なる活用を図るとともに、生涯学習情報コーナーにおける情報提供、相談機能の充実を図ります。

<実績・成果等>

1 生涯学習情報コーナーの運営

生涯学習に関する情報提供や市民からの問合せや相談に総合的に応じる窓口として、生涯学習情報コーナーを、さやま生涯学習をすすめる市民の会に委託して運営を行いました。本年度は、359 日間開所し、18,575 人の利用がありました。また、生涯学習情報コーナーの事業として、生涯学習がつなぐネットワークづくりを目的に、平成 30 年 3 月 17 日に市民交流センターにおいて、さやま生涯学習サークル「ミュージックフェスティバル 2018」を開催しました。

2 地域ポータルサイトにおける生涯学習関連情報の提供

地域ポータルサイト「さやマルシェ」内の『さやまなびいネット』にて、市内公民館や小・中学校開放体育館等で活動しているサークルの情報などを提供し、月平均 23,197 件のアクセスがありました。

10款 5項 1目 社会教育総務費

学校支援事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 255 ページ

予算現額	1,724,000 円		決算額	1,714,012 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	9,988 円			県 支 出 金	680,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			1,712,425 円	地 方 債	
	増減額			1,587 円	そ の 他	
	増減率	0.09%	一 般 財 源	1,034,012 円		

<目的>

学校・地域が一体となって学校支援に取り組む体制づくりを進めることで、市民の学習成果を活かす機会を拡充し、学校教育の充実と地域の教育力の向上を図ることを目的とします。

<内容>

学校支援ボランティアセンターによる学校支援の充実を図るとともに、学校応援団の組織の拡充を通じて、地域による学校支援を促進します。

<実績・成果等>

1 学校応援団の運営

小中学校 23 校に学校応援団を設置し、学習活動、部活動指導、環境整備、登下校の安全見守り等の支援を行い、全校合わせた活動日数は延べ 8,197 日で、延べ 94,324 人が学校支援に携わりました。

2 学校支援ボランティアセンターの運営

地域の教育力を活かして、小中学校の学習支援にあたる学校支援ボランティアセンターについて、その運営をさやま市民大学同窓会（旧 S S C C 同窓会）に委託し、小学校 15 校及び中学校 8 校に 289 人のボランティアを派遣しました。

10款 5項 1目 社会教育総務費

家庭教育支援事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 255 ページ

予算現額	647,000 円		決算額	611,300 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	35,700 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			840,000 円	地 方 債	
	増減額			△228,700 円	そ の 他	
	増減率	△27.23%	一 般 財 源	611,300 円		

<目的>

核家族化の進行や社会構造、価値観などの変化に伴い、家庭の教育力の低下が指摘されている現状を踏まえ、家庭教育の自主性を尊重しつつ、学習機会の提供などを通して、家庭教育を支援します。

<内容>

P T A と連携して、家庭教育研修会や家庭教育学級の内容の充実を図り、家庭の教育力の向上に向けた支援を行います。

<実績・成果等>

1 家庭教育合同研修会の実施

家庭教育合同研修会を狭山市 P T A 連合会との共催により、4 会場で実施しました。

期 日	会 場	内 容
平成 29 年 10 月 28 日	市民会館小ホール	講演会 「全ての子どもに学力をそして生きる力を」
平成 29 年 11 月 4 日	入間川小学校講堂	講演会 「東日本大震災から学ぶ～埼玉からできる伝承～」
平成 29 年 11 月 18 日	狭山元気プラザ体育館	講演会 「親の気づきと学び」
平成 29 年 11 月 18 日	御狩場小学校体育館	講演会 「癌になっても自分らしく生きられる社会」

2 家庭教育学級の実施

家庭教育学級の開設と運営を幼稚園保護者会と小中学校 P T A に委託し、実施しました。

幼稚園幼児期家庭教育学級	6 学級	90,000 円
小学校 P T A 家庭教育学級	15 学級	225,000 円
中学校 P T A 家庭教育学級	8 学級	120,000 円

3 すこやか子育て講座の実施

平成 30 年 4 月に入学する児童の保護者を対象に、就学時健康診断や入学説明会の機会を捉え、市立小学校全校（15 校）において家庭教育や子育てに関する講座を実施しました。

10款 5項 1目 社会教育総務費

地域子ども教室推進事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 255 ページ

予算現額	3,095,000 円		決算額	2,705,827 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	389,173 円			県 支 出 金	1,541,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			2,710,643 円	地 方 債	
	増減額			△4,816 円	そ の 他	
	増減率	△0.18%	一 般 財 源	1,164,827 円		

<目的>

核家族化の進行や社会構造、価値観などの変化に伴い、家庭や地域の教育力の低下が指摘されている現状を踏まえ、地域で子供を育む機会を充実させ、家庭や地域の教育力の向上に取り組むとともに、子供の健全育成を図ります。

<内容>

地域で子供を育む機会として、様々な体験や交流の場となる地域子ども教室の活動を推進します。

<実績・成果等>

1 地域子ども教室の実施

放課後教室 9 教室、週末教室 6 教室を地域子ども教室連絡会 Tie に委託し、実施しました。本年度は、新たに富士見小学校区を対象とした放課後教室を開設しました。また、全小学校区を対象とした広域事業として、狭山工業高等学校文化祭への参加、地元企業による理科教室を体験しました。

放課後教室として 116 回開催し、延べ 7,985 人が参加、週末教室として 55 回開催し、延べ 2,283 人が参加、広域事業として 2 回開催し、延べ 100 人が参加しました。

10款 5項 1目 社会教育総務費

青少年健全育成事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 257 ページ

予算現額	3,021,000 円		決算額	2,937,548 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	83,452 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			3,022,969 円	地 方 債	
	増減額			△85,421 円	そ の 他	
	増減率	△2.83%	一 般 財 源	2,937,548 円		

<目的>

家庭、地域、学校が連携して青少年の健全育成活動の充実を図り、以って青少年の健全な成長を促進するとともに地域の教育力の向上を図ります。

<内容>

青少年の健全育成活動の充実のため、青少年育成団体の活動を支援します。

<実績・成果等>

1 青少年育成団体の支援

青少年育成団体に補助金を交付し、各団体の活動を支援しました。

青少年相談員協議会 30,000 円

青少年育成推進委員会 57,000 円

青少年を育てる狭山市民会議 2,810,000 円

10款 5項 1目 社会教育総務費

人権施策推進事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 257 ページ

予算現額	1,096,000 円		決算額	931,848 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	164,152 円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比較	決算額			978,838 円	地方債	
	増減額			△46,990 円	その他	
	増減率	△4.80%	一般財源	931,848 円		

<目的>

同和問題をはじめとする様々な人権問題の正しい理解と認識を深め、一人ひとりの人権が尊重され、差別のない明るい地域社会の実現を目指します。

<内容>

同和問題、女性、子供、高齢者、障害者、外国人などに関わる様々な人権問題に対する意識の高揚を図るため、様々な機会を通じて啓発活動を推進します。また、学校教育、社会教育、企業、行政などのあらゆる場において、人権教育を推進します。

<実績・成果等>

- 小中学校PTA人権教育学級の開催
市内23校の小中学校PTAに委託し、人権教育学級を開催しました。
小学校PTA人権教育学級 15学級
中学校PTA人権教育学級 8学級
- 人権教育研修会等の開催
学校教育関係者や社会教育関係者などで構成される狭山市人権教育推進協議会との共催により、人権教育研修会、企業人権教育研修会、人権教育実践研究会等を開催しました。

事業名 (会場)	期 日	内 容	参加者数
人権教育研修会 (勤労福祉センター)	平成29年10月17日	講演会「『部落差別解消法』制定の意義と課題」	164人
	平成29年11月15日	講演会「真の共生社会を目指して！～障害とともに地域で生きるとは？～」	144人
	平成29年12月13日	講演会「人権意識が身に迫るとき～高齢者の人権について考える～」	161人
企業人権教育研修会 (中央公民館)	平成29年11月9日	講演会「企業における人権～職場の人権啓発活動～」	11人
人権教育実践研究会 (市民会館)	平成30年2月8日	実践発表「小学校における人権教育」 新狭山小学校 実践発表「中学校における人権教育」 堀兼中学校 実践発表「公民館における人権教育」 水富公民館	144人

10款 5項 2目 文化財保護費

文化財保護事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 257 ページ

予算現額	2,752,000 円		決算額	2,450,722 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	301,278 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			2,023,273 円	地 方 債	
	増減額			427,449 円	そ の 他	
	増減率	21.13%	一 般 財 源	2,450,722 円		

<目的>

郷土の貴重な文化財を後世に伝えるため、指定文化財を保存し、これを公開することや民俗芸能等の保存・継承に取り組む団体を支援することにより、市民の郷土の歴史や文化財に対する理解を深めるとともに、文化財愛護意識の高揚を図ります。

<内容>

貴重な文化財を後世に残すため、指定文化財の所有者や民俗芸能の保持者などを支援するとともに、民俗芸能等の保存・継承に取り組む団体の活動を支援します。

<実績・成果等>

1 文化財の管理・保存

(1) 指定文化財等の管理

文化財の管理委託料（七曲井・城山砦跡・富士塚・影隠地蔵・今宿遺跡・下水野の地蔵尊・綿貫家「西東」の碑） 1,181,920円

指定文化財管理事業費補助金（廣瀬神社の大ケヤキ樹勢回復事業） 100,000円

文化財管理等工事費（指定文化財等説明板設置工事） 238,680円

(2) 民俗芸能の振興

民俗芸能振興事業費補助金（入曽の獅子舞保存会 ほかに5団体） 447,000円

2 文化財の普及・啓発

(1) 文化財展の開催

「柏原の埋蔵文化財」と題して、平成 29 年 12 月 11 日から 12 月 18 日まで、柏原公民館 1 階エントランスで文化財展を開催しました。

(2) 文化財講演会の開催

「縄文土器の文様を作ろう」と「柏原の奈良・平安時代一鳥ノ上遺跡を中心に」の 2 部構成で平成 29 年 12 月 16 日に柏原公民館で開催しました。

(3) 文化財防火デーに伴う防火訓練の実施

平成 30 年 1 月 27 日に、柏原地区の柏原白鬚神社において、第 35 回狭山市文化財防火デー防火訓練を実施する予定であったが、降雪のため中止となりました。

(4) 埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行（狭山市遺跡調査会で実施）と配布

稲荷上遺跡第 6 次調査報告書を刊行し、市内公共施設および周辺自治体に配布しました。

(5) ホームページコンテンツの更新

公式ホームページで指定文化財報告書を 11 件、埋蔵文化財関連資料を 4 件公開し、全国遺跡報告総覧で埋蔵文化財報告書を 26 件公開したほか、埼玉県埋蔵文化財インフォメーションシステムへのリンク登録をしました。また、地理院地図（電子国土 Web）取り込みデータ、総務省統計局提供の jSTATMAP 取り込みデータを公開し、埋蔵文化財、指定文化財、神社・仏閣、石仏の位置情報について閲覧を可能にしました。狭山市立博物館の過去の展示会ポスター及びパンフレットを 93 件公開しました。

10款 5項 2目 文化財保護費

文化財発掘調査事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 259 ページ

予算現額	10,029,000 円		決算額	9,849,041 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	1,648,000 円
不用額	179,959 円			県支出金	824,000 円
前年度 比較	決算額	9,590,868 円	一般財源	地方債	
	増減額	258,173 円		その他	
	増減率	2.69%			7,377,041 円

<目的>

開発等に際して、埋蔵文化財の確認調査を実施するとともに、発掘調査した埋蔵文化財を記録保存し、あわせて、公開することにより、埋蔵文化財を後世に伝えていきます。

<内容>

埋蔵文化財包蔵地における開発等に際して、事前に遺構確認調査を実施し、遺構が確認され、現状が保存できない場合には発掘調査を行い、その結果を記録保存するとともに、発掘した埋蔵文化財の展示等を通じ、市民への公開を進めます。

<実績・成果等>

- 1 各種開発行為に先立つ埋蔵文化財確認調査の実施
埋蔵文化財包蔵地内における確認調査を 59 件（総面積 98,276.22 平方メートル）実施しました。
- 2 出土品の整理
文化財センター内で出土品の復元、実測等の整理作業を行いました。
- 3 収蔵品の整理
文化財センター内にある資料の整理を行いました。
 - (1) 図面整理
発掘調査図面をラベリングし、一覧を作成しました。
ア 遺跡数 105 件
イ 図面数 2,190 枚
 - (2) 写真整理
文化財関係資料写真を電子データ化しました。
ア 枚数 13,243 枚
 - (3) 受贈報告書受付
受入した報告書の一覧を整備しました。
ア 受入数 1,008 冊
 - (4) 図書整理
受入れている図書や当市が発行した報告書を電子データ化しました。
ア PDF化数 97 冊
イ OCR（文字認識処理）数 16 冊

10款 5項 3目 富士見集会所費

富士見集会所管理事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 259 ページ

予算現額	8,224,000 円		決算額	5,886,640 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,337,360 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			10,285,886 円	地 方 債	
	増減額			△4,399,246 円	そ の 他	577,420 円
	増減率	△42.77%	一 般 財 源	5,309,220 円		

<目的>

施設の管理運営の充実を通して、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図ります。

<内容>

集会所を住民の集会その他の公共的利用に供する施設として、様々なニーズに応えられるよう施設の管理運営を行います。

<実績・成果等>

利用状況 開所日数 145 日 (耐震補強外工事のため7カ月間閉館)

区 分	件 数	人 数
同 和 団 体	14 件	336 人
官 公 署	5	52
公 共 団 体	90	991
社会教育関係団体 (免除団体)	29	298
社会教育関係団体 (有料団体)	967	12,112
合 計	1,105	13,789

10款 5項 3目 富士見集会所費

富士見集会所講座等運営事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	1,240,000 円		決算額	537,503 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	702,497 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	1,013,248 円		地方債	
	増減額	△475,745 円		その他	
	増減率	△46.95%	一般財源	537,503 円	

<目的>

主催事業等を通して集会所運営の基本理念であるすべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、問題解決に資することができるよう人権教育の充実を図ります。

<内容>

人権学習の今日的課題である「女性・子ども・高齢者・障害者・同和問題・外国人・その他の人権」についての人権教育・啓発を行います。併せて、事業参加者・利用者相互の交流にも努めます。

<実績・成果等>

1 主催事業の実施

人権に関する講座を中心に主催事業として、次のとおり実施しました。

種 別	内 容	講 座 数	回 数	延べ人数
人権啓発	小・中学生対象 人権学習	講座 2	3 回	436 人
	成人一般人権セミナー及び 教職員人権教育研修会	2	6	301
青 少 年	小・中学生対象の ふれあい教室等	3	11	189
高 齢 者	ふじみ寿大学	1	5	147
合 計		8	25	1,073

10款 5項 3目 富士見集会所費

富士見集会所改修整備事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	28,902,000 円		決算額	28,595,360 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	306,640 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			1,620,000 円	地 方 債	17,400,000 円
	増減額			26,975,360 円	そ の 他	
	増減率	1,665.15%	一 般 財 源	11,195,360 円		

<目的>

老朽化した富士見集会所を改修し、利用者の利便性の向上を図ります。

<内容>

富士見集会所の老朽化に伴い、改修工事を行います。

<実績・成果等>

1 施設改修工事の実施

空調整備等の改修工事を実施しました。

富士見集会所改修工事監理委託 929,000 円

富士見集会所改修工事 27,666,360 円

10款 5項 3目 富士見集会所費

富士見集会所耐震補強事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	26,445,000 円		決算額	25,369,000 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,076,000 円			県支出金		
前年度 比 較	決算額	2,592,000 円		地方債	19,000,000 円	
	増減額	22,777,000 円		その他	5,000,000 円	
	増減率	878.74%		一般財源	1,369,000 円	

<目的>

富士見集会所の耐震診断の結果、必要である耐震補強工事を実施します。

<内容>

富士見集会所の耐震補強工事を行います。

<実績・成果等>

1 耐震補強工事の実施

耐震補強工事を実施しました。

富士見集会所耐震補強工事監理委託 1,015,000 円

富士見集会所耐震補強工事 24,354,000 円

10款 5項 4目 公民館費

公民館管理事業

(中央公民館 (公連分))

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	136,012,000 円		決算額	131,581,798 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	4,430,202 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	133,072,250 円		地方債	
	増減額	△1,490,452 円		その他	19,501,645 円
	増減率	△1.12%	一般財源	112,080,153 円	

<目的>

市民の学習活動の場としての利用を通して、市民の生涯学習活動の促進を図ります。

<内容>

生涯学習の拠点として、生涯学習に取り組む場や生涯学習の成果を発表する場としての利用に供します。

<実績・成果等>

利用状況

区 分	官 公 署		公共的団体 (内免除登録団体)		有料団体		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
中央公民館	756	20,706	1,192 (333)	19,450 (3,395)	10,581	126,624	12,529	166,780
富士見公民館	59	273	398 (165)	8,737 (1,884)	5,986	62,118	6,443	71,128
入曽公民館	100	1,038	585 (6)	11,049 (54)	3,834	45,982	4,519	58,069
水野公民館	84	1,536	282 (0)	6,534 (0)	4,048	47,420	4,414	55,490
堀兼公民館	71	555	233 (7)	2,066 (70)	2,010	19,655	2,314	22,276
狭山台公民館	59	330	874 (234)	13,914 (2,446)	4,685	48,103	5,618	62,347
新狭山公民館	71	889	688 (15)	9,699 (203)	3,018	35,582	3,777	46,170
奥富公民館	43	538	508 (33)	2,682 (118)	1,663	17,203	2,214	20,423
柏原公民館	97	1,977	383 (51)	6,630 (895)	2,058	21,509	2,538	30,116
広瀬公民館	69	1,790	236 (45)	2,755 (760)	4,510	43,530	4,815	48,075
水富公民館	37	981	379 (0)	5,952 (0)	1,762	17,779	2,178	24,712
合 計	1,446	30,613	5,758 (889)	89,468 (9,825)	44,155	485,505	51,359	605,586

※新狭山公民館は、建替えに伴い、平成27年7月から平成29年5月末まで休館としました。

10款 5項 4目 公民館費

公民館講座等運営事業

(中央公民館(公連分))

決算事項別明細書 263 ページ

予算現額	5,862,000 円		決算額	4,646,088 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,215,912 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			3,815,555 円	地 方 債	
	増減額			830,533 円	そ の 他	
	増減率	21.77%	一 般 財 源	4,646,088 円		

<目的>

市民のニーズや社会的な要請を踏まえて、各種の講座等を開催し、これらを通じて市民学習活動の促進と、社会教育の拡充を図ります。

<内容>

生涯学習及び社会教育の拠点として、現代的課題や地域課題などをテーマとした講座等を開催します。

<実績・成果等>

講座等の開催状況

公民館名	事業件数	延べ開催回数	延べ参加人数
中 央 公 民 館	34 件	402 回	18,915 人
富 士 見 公 民 館	38	174	13,508
入 曾 公 民 館	30	78	14,660
水 野 公 民 館	43	238	19,231
堀 兼 公 民 館	45	69	10,465
狭 山 台 公 民 館	39	552	15,525
新 狭 山 公 民 館	36	153	10,281
奥 富 公 民 館	36	86	14,159
柏 原 公 民 館	40	116	6,423
広 瀬 公 民 館	35	162	9,458
水 富 公 民 館	39	80	10,572
合 計	415	2,110	143,197

10款 5項 5目 図書館費

図書利用推進事業

(中央図書館)

決算事項別明細書 267 ページ

予算現額	124,070,000 円		決算額	121,154,397 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	2,915,603 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	125,597,099 円		決算額の 財源内訳	地 方 債
	増減額	△4,442,702 円	そ の 他		31,186,000 円
	増減率	△3.54%	一 般 財 源		89,968,397 円

<目的>

図書やその他必要な資料を収集・整理・保存し、広く市民の利用に供することにより、市民の読書活動の推進や、学習意欲に応じていきます。

<内容>

図書、雑誌や新聞等の資料の選定・購入、図書館サービスを提供するのに必要となる臨時職員の雇用や図書館システムの借上げを行います。

<実績・成果等>

1 図書利用の推進

- (1) 図書購入費 27,265,943 円 図書購入冊数 14,604 冊
 うち 中央館 21,032,289 円 うち 中央館 10,553 冊
 うち 狭山台館 6,233,654 円 うち 狭山台館 4,051 冊
 視聴覚資料購入費 1,144,170 円 (DVD110 点、CD16 点)

- (2) 登録者数 145,285 人

- (3) 利用実績

区 分	中央館	狭山台館	移動図書館	合 計	(内団体)
利用者数	212,456 人	63,506 人	5,534 人	281,496 人	(1,133) 団体
貸出数	652,038 点	226,831 点	17,423 点	896,292 点	(26,026) 点

- (4) 資料区分ごとの貸出数

区 分	一般書	児童書	雑 誌	ビデオ	DVD	C D	カセット	DAISY※
貸出数	511,115 冊	318,789 冊	40,006 冊	721 点	9,607 点	15,631 点	375 点	48 点

(※DAISY とは印刷物を読むのが困難な人々のために製作されたデジタル録音図書)

- (5) 児童奉仕

読み聞かせ、工作、体験学習等 74 回 (ボランティアグループとの連携実施を含む)
 読み聞かせ講座等 3 回
 子ども映画会 14 回
 保健センターの育児学級での図書館案内、絵本紹介等 6 回

- (6) 学校連携

小学生向けの広報紙「よむぞうタイムズ」69号、70号、71号、号外の発行
 中学生向けの広報紙「よむレンジャー」34号、35号、36号の発行
 出前事業 (ブックトーク) の実施 (小学校 23 学級、対象 717 人、貸出 1,525 冊)
 (中学校 4 学級、対象 144 人、貸出 121 冊)
 出前事業 (図書館利用教育) の実施 (小学校 7 学級、対象 203 人)
 図書の団体貸出 98 回、2,801 冊
 小中学生向けの図書館選定図書「よむぞうスクールパック」の貸出 3 回
 子どもものときに読みたい本「さやまの 100 冊パック」の小中学校への貸出 16 回
 職場体験等学習受入 中学校 6 校 18 人
 図書館訪問等の受入 小学校 8 校 610 人

2 その他

- (1) 市民文芸「さやま」22号 400部刊行（応募者数 140人、応募作品数 475点）
- (2) 視聴覚教材・教具貸出 57点（うち16ミリフィルム 41点）、視聴者 794人
- (3) レーザーディスク視聴者 446人
- (4) その他の奉仕活動
 - レファレンス 11,616件 資料コピー 12,012枚
 - リクエスト 67,276件

10款 5項 6目 博物館費

博物館管理事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 267 ページ

予算現額	76,481,000 円		決算額	74,202,766 円		
翌年度繰越額	756,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,522,234 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			73,761,952 円	地 方 債	
	増減額			440,814 円	そ の 他	
	増減率	0.60%	一 般 財 源	74,202,766 円		

<目的>

施設の維持管理及び資料の保管を行います。また、当市の歴史・文化・自然等に対する興味、関心を得られるような企画展・講座を開催し、郷土狭山に関する学習活動の醸成を図ります。

<内容>

常設展示では、展示テーマ「入間川と入間路」を中心に、狭山の自然・地質・考古・歴史・民俗などを通史的に展示するほか、博物館をより身近なものとするため、企画展とともに講座や体験学習を開催します。

企画展は、「狭山らしさ」を踏まえ、当市の歴史の一端に触れるもの、子どもたちの博物館への興味や関心を深めるもの及び独自性に富んだものを基軸として開催します。

<実績・成果等>

指定管理者制度の導入により、平成27年4月1日より指定管理者が管理運営を行っています。利用状況と企画展等の開催状況は次のとおりです。

1 入館の状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開館日数	25 ^日	25	21	27	27	27	27	26	22	24	25	27	303
入館者数	2,932 ^人	2,453	1,537	3,200	5,567	1,776	2,353	1,303	1,024	2,179	2,942	7,996	35,292

2 企画展

事 業 名	開 催 期 間	日 数	入館者数
僕たちのヒーロー伝説	3月11日～6月25日	72 (本年度分) ^日	6,922 (本年度分) ^人
第2回みんなのアンデルセン展	3月11日～4月9日	8 (本年度分)	1,673 (本年度分)
山下清とその仲間たちの作品展	7月8日～8月20日	40	7,988
狭山の小さな画伯たち	8月5日～8月13日	8	629
空想の旅人 アンデルセン展	8月26日～10月22日	32	4,227
第3回みんなのアンデルセン展	10月1日～10月22日	20	3,094
レッツキャリー展	11月3日～2月25日	55	7,242
風呂敷の作法	11月3日～12月13日	34	1,702
飛び出す絵本展	12月20日～2月28日	55	5,381
トリック3Dアート展	3月10日～5月13日	19 (本年度分)	7,786 (本年度分)

3 企画展関連事業

事業名	開催日	参加者数
春のまいまい体験講座	3月11日～6月25日	704 (本年度分) 人
特撮映像を体験しよう!	4月29日～6月17日	132
腹話術シアター	5月5日	125
中国友好都市締結20周年記念写真展	5月5日～5月7日	153
「大巨獣ガッパ」上映会	5月14日	10
狭山市図工美術作品展	6月24日・25日	955
夏のまいまい体験講座	7月8日～8月31日	3,130
ぼくら野あそびはっけん隊	8月12日・1月20日	47
講演会「アンデルセンと旅」	9月10日	67
まいまい体験講座「切り絵モビールをつくろう」	8月26日～10月22日	612
レッツキャリー展ギャラリートーク	11月18日・12月9日	5
第2回童句コンクール表彰式	10月7日	78
無料上映会「雪の女王」	10月15日	35
さやはく午後の音楽会「弦楽四重奏」	10月28日	40
出張工作「まゆ玉指人形」	11月8日・2月17日	144
さやはく大茶会スタンプラリー	11月5日～11月14日	374
さやはく生涯学習フォーラム「狭山の民間信仰史跡めぐり」	12月1日	19
冬のまいまい体験講座	11月3日～12月24日	411
音楽劇「みんなでパーティ」	12月17日	124
冬のまいまい体験講座	1月6日～2月25日	666
春のまいまい体験講座	3月10日～5月13日	765 (本年度分)
おりぴい撮影会	3月24日・25日・31日	90

4 講座・体験学習等

事業名	開催日	参加者数
古文書読解講座 (中級編)	毎月1回 (全10回)	413 人
春の古文書読解講座 (初級編)	4月8日～6月16日 (全12回)	316
秋の古文書読解講座 (初級編)	9月30日～12月2日 (全10回)	357
甲冑の着付け「若武者になろう」	5月3日	45
茶席	5月14日・10月8日・3月11日	92
歴史文化講座	2月3・24日	92
打掛の着付け「お姫様になろう」	3月3・4日	118

10款 6項 2目 学校保健費

公立学校保健事業

(学務課)

決算事項別明細書 269 ページ

予算現額	59,534,000 円		決算額	58,030,026 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	1,503,974 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	59,270,022 円		地方債	
	増減額	△1,239,996 円		その他	4,227,030 円
	増減率	△2.09%	一般財源	53,802,996 円	

<目的>

健康診断等を通じて、幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒・教職員の心身の健康を保持します。

<内容>

学校保健安全法に基づき、幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒・教職員を対象に健（検）診や学校環境衛生検査等を実施します。

また、園児・児童・生徒を対象として、学校管理下の災害に対し、災害共済給付(医療費、障害見舞金または死亡見舞金)を行うため、災害共済給付制度に加入します。

<実績・成果等>

学校医等の協力により、園児・児童・生徒の健康診断と学校環境衛生検査を実施しました。

区分	校(園)数	内科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	歯科医	薬剤師
幼稚園	2 園	2 人	— 人	— 人	2 人	2 人
小学校	15 校	17	15	15	23	15
中学校	8 校	11	8	8	10	8

1 健康診断

- (1) 平成 30 年 4 月に小学校に入学する就学児童 1,071 人を対象に健康診断を実施しました。
受診児数 1,086 人(受診率 98.62%) 未受診児 23 人(主な理由は転居や転居予定に伴う他市受診、海外滞在中、私立小学校入学、居所不明児はなし)
- (2) 園児・児童・生徒を対象に尿検査を実施しました。
尿検査 受診者数 10,528 人 要精密検査者数(蛋白 90 人・糖 4 人・潜血 30 人)
- (3) 児童・生徒の結核健康診断を実施しました。
受診者数 9,735 人 結核対策委員会要検討者なし 直接撮影者 5 人 要精密検査者数 0 人
- (4) 小学校 1 年生、中学校 1 年生及び前年度未受診者を対象に、心電図検査を実施しました。
受診者数 2,288 人 要精密検査者数 57 人
- (5) 教職員健康診断を実施しました。
集団健診受診者数 238 人(要精密検査者数 78 人)
個別健診受診者数 39 人(要精密検査者数 3 人)
結核健康診断受診者数 260 人 胃検診受診者数 61 人

2 災害共済給付制度

園児・児童・生徒の学校管理下の災害に備えて、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度へ加入しました。
※保護者負担金の調定額及び収入済額 4,227,030 円

区 分	加入者数	共済掛金
一般児童生徒	9,102 人	8,601,390 円
要保護児童生徒	32	1,760
準要保護児童生徒	1,294	1,121,400
園児	178	52,510
前年度途中加入者	19	15,355
合 計	10,625	9,792,415

10款 6項 3目 スポーツ振興費

市民スポーツ促進事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 269 ページ

予算現額	8,785,000 円		決算額	8,188,472 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	596,528 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			8,990,340 円	地 方 債	
	増減額			△801,868 円	そ の 他	
	増減率	△8.92%	一 般 財 源	8,188,472 円		

<目的>

スポーツに親しむことのできる場や機会の提供を通じて、市民のスポーツ活動の促進を図ります。

<内容>

市民のライフスタイルやニーズに応じて、各種スポーツ教室や行事を充実させ、また、ニュースポーツやウォーキングなどの気軽に楽しめるスポーツの普及を図ります。

<実績・成果等>

1 スポーツ教室等の開催

スポーツ教室は、17 種目 20 教室を開催し、延べ 1,060 人の参加があり、壮年ソフトボール大会をはじめとするスポーツ関連行事は、6 回実施し、645 人の参加がありました。

また、クロスカントリー in Sayama2017 を狭山市体育協会と共催で実施し、1,063 人の参加がありました。狭山市体育協会への委託により開催している市民ゴルフ大会は、本年度は台風の影響により中止となりました。

(1) スポーツ教室

教室名	期 間	会 場	参加者数	延べ人数
硬式テニス(初心者)	5月～6月 (6日間)	智光山公園テニスコート	16 人	83 人
ゴルフ(初心者)	5月～6月 (8日間)	新狭山ゴルフセンター	12	86
ノルディックウォーク	5月 (1日間)	市民総合体育館及び周辺	15	15
親子体操	6月 (4日間)	市民交流センター	30	74
健康・ダイエットピラティス	6月～7月 (5日間)	市民交流センター	18	75
ラケットテニス体験会	6月 (1日間)	狭山台体育館	15	15
	9月 (1日間)		20	20
バウンドテニス	7月 (4日間)	市民総合体育館アリーナ	10	18
水泳(初心者)	7月 (6日間)	入間川小学校プール	20	107
剣道(初心者)	7月 (5日間)	中央中学校武道場	9	38
夏休みスポーツ体験	8月 (2日間)	東京家政大学	14	28
かけっこ(親子)	8月 (1日間)	市民総合体育館アリーナ	34	34
スポーツ吹矢(初心者)	9月 (5日間)	東京家政大学	24	109

弓道（初心者）	10月	（8日間）	市民総合体育館弓道場	16	105
健康リズム体操	11月	（2日間）	東京家政大学	9	14
ウォーキング	11月	（1日間）	狭山稲荷山公園	12	12
日体大の先生に学ぼう バレーボール教室	2月	（1日間）	市民総合体育館アリーナ	115	115
ボウリング	3月	（4日間）	新狭山グランドボウル	16	61
日体大ランニング・ ウォーキング教室	3月	（1日間）	市民総合体育館アリーナ	12	12
日体大小学生陸上教室	3月	（1日間）	市民総合体育館アリーナ	39	39

(2) スポーツ関連行事

事業	期日	会場等	参加者数
壮年ソフトボール大会	5月14日	上奥富コンビネーショングラウンド	242人 (14チーム)
さやま CITY ゴルフ I	5月17日	東京ゴルフ倶楽部	129 (33組)
さやま CITY ゴルフ II	6月16日	東京ゴルフ倶楽部	132 (34組)
体力テスト会	10月9日	市民総合体育館アリーナ	109
指導者養成講座	3月4日	市民総合体育館アリーナ	11
健康ウォーキング	3月16日	市民交流センター入間川散策	22

(3) 委託事業

事業	期日	会場等	参加者数
第33回市民ゴルフ大会	10月23日	霞ヶ関カントリー倶楽部	中止

(4) 共催事業

事業	期日	会場等	参加者数
クロスカントリー in Sayama 2017	12月11日	狭山稲荷山公園	1,063人

2 スポーツ推進委員の活動の促進

市主催等のスポーツ・レクリエーション事業への協力を得るとともに、スポーツ推進委員連絡協議会に、普及委員会、広報委員会、研修委員会を設置し、ニュースポーツの普及や地域スポーツの振興に取り組み、スポーツ推進委員の資質の向上を図りました。

スポーツ・レクリエーション事業への協力 14回 延べ167人

会議、委員会等 21回 延べ205人

実技研修等 17回 延べ177人

ニュースポーツ教室等 10回 延べ48人

広報紙の発行

埼玉県・入間地区会議、実技研修等 35回 延べ92人

3 関係団体の支援

関係団体に補助金を交付し、活動を支援しました。

狭山市スポーツ推進委員連絡協議会 90,000円

狭山市レクリエーション協会 800,000円

4 市民体育祭の支援

地区体育祭に補助金を交付し、開催を支援しました。

市民体育祭（8地区、9会場） 3,079,000円

10款 6項 3目 スポーツ振興費

競技スポーツ振興事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 271 ページ

予算現額	5,094,000 円		決算額	5,020,898 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	73,102 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			4,717,539 円	地 方 債	
	増減額			303,359 円	そ の 他	
	増減率	6.43%	一 般 財 源	5,020,898 円		

<目的>

競技団体のスポーツ活動を充実させるため、補助金を交付し、スポーツ団体の育成・支援を図ります。

<内容>

スポーツ団体の活動を支援することにより、組織の充実を図るとともに、競技スポーツの振興と青少年のスポーツ活動の普及を図ります。

<実績・成果等>

1 関係団体の支援

関係団体に補助金を交付し、活動を支援しました。

狭山市体育協会

3,700,000 円

狭山市スポーツ少年団

684,000 円

2 トップアスリートによる教室の開催をとおして、競技力向上と競技スポーツの啓発と普及に取り組むことができました。

○主な事業内容

・日体大の先生に学ぼうバレーボール教室

150,000 円

・日体大ランニング・ウォーキング教室

} 87,000 円

・日体大小学生陸上教室

10款 6項 4目 スポーツ施設費

市民総合体育館管理事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 271 ページ

予算現額	64,882,000 円		決算額	64,072,860 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	809,140 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			60,155,860 円	地 方 債	
	増減額			3,917,000 円	そ の 他	
	増減率		6.51%	一 般 財 源	64,072,860 円	

<目的>

スポーツ活動等の場の提供を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

<内容>

市民のスポーツ活動等の場として、市民総合体育館を市民の利用に供し、また、教室等の自主事業を実施します。施設の管理や自主事業については、指定管理者により実施します。

<実績・成果等>

エアロビクスやヨガ等の教室を7種目17教室開催し、7,902人の参加があり、また、スポーツ無料体験等の2事業を開催し、187人の参加がありました。

利用状況

開館日数	利 用 者 数			
	利用件数	利用人数	一 日 平 均	
			利用件数	利用人数
335日	74,943 件	311,071 人	223.71 件	928.57 人

10款 6項 4目 スポーツ施設費

地域スポーツ施設管理事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 273 ページ

予算現額	43,926,000 円		決算額	43,925,860 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	140 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			45,115,860 円	地 方 債	
	増減額			△1,190,000 円	そ の 他	
	増減率	△2.64%	一 般 財 源	43,925,860 円		

<目的>

スポーツ活動等の場の提供を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

<内容>

市民のスポーツ活動等の場として、地域スポーツ施設を市民の利用に供し、また、教室等の自主事業を実施します。施設の管理や自主事業については、指定管理者により実施します。

<実績・成果等>

幼児体操やスケート等の教室を8種目22教室開催し、9,832人の参加がありました。

利用状況

狭山台体育館	開館日数	利 用 者 数			
		利用件数	利用人数	一 日 平 均	
				利用件数	利用人数
	333 日	4,837 件	56,141 人	14.53 件	168.59 人

狭山台プール	開館日数	利 用 者 数			
		小学生以下	中・高校生	一 般	計
			48 日	3,385 人	380 人

10款 6項 4目 スポーツ施設費

学校体育施設開放等事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 273 ページ

予算現額	1,372,000 円		決算額	1,249,105 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	122,895 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			20,546,465 円	地 方 債	
	増減額			△19,297,360 円	そ の 他	
	増減率	△93.92%	一 般 財 源	1,249,105 円		

<目的>

小・中学校の体育館等の開放を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

<内容>

小・中学校の体育館等について、学校教育に支障のない範囲でスポーツ団体に開放します。また、入曾運動広場の管理を委託により実施します。

<実績・成果等>

利用状況

学 校 名	利 用 日 数	利用登録団体数	延べ利用者数
入間川東小学校	118 日	6 団体	2,681 人
富士見	234	13	7,263
南	239	19	9,743
山王	40	1	410
入間野	197	10	3,593
御狩場	191	11	6,731
堀兼	123	7	2,452
狭山台	246	13	9,251
新狭山	204	10	4,893
奥富	119	8	5,495
柏原	177	7	3,630
広瀬	233	12	5,497
笹井	157	12	4,929
水富	104	3	2,088
中央中学校	172	7	3,867
入間川	151	4	2,044
山王	232	6	2,606
入間野	194	6	3,352
堀兼	184	5	2,183
西	275	16	7,860
柏原	185	6	2,390
狭山台	217	6	4,123
合 計	3,992	188	97,081

※利用登録団体数は、平成30年3月末の団体数。

入曾運動広場	利用日数	利 用 者 数			
		利用件数	利用人数	一 日 平 均	
					利用件数
	336 日	949 件	32,814 人	2.82 件	97.66 人

10款 6項 4目 スポーツ施設費

屋内スポーツ施設改修事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 273 ページ

予算現額	1,330,000 円		決算額	1,296,000 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	34,000 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額			地 方 債	
	増減額			1,296,000 円	そ の 他
	増減率	皆増	一 般 財 源	1,296,000 円	

<目的>

市民の自主的なスポーツ活動等を推進するとともに、スポーツ・レクリエーション活動の振興を図り、市民の健康で文化的な生活を築き上げることを目的として、屋内スポーツ施設の維持管理を行います。

<内容>

市民総合体育館の床改修等を進めます。

<実績・成果等>

昭和 57 年に建設された市民総合体育館は、老朽化が進み、床の損傷が激しいため、平成 30 年度にアリーナ床の全面改修工事を実施するにあたり、平成 29 年度に設計委託を行ったものです。

市民総合体育館アリーナ床改修工事設計委託料 1,296,000 円

10款 6項 5目 学校給食センター費

給食センター管理事業

(入間川学校給食センター)

決算事項別明細書 273 ページ

予算現額	229,616,000 円		決算額	228,925,004 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	690,996 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			229,335,528 円	地方債	
	増減額			△410,524 円	その他	
	増減率	△0.18%	一般財源	228,925,004 円		

<目的>

安全かつ安心な給食を児童生徒に提供します。

<内容>

安全・安心な学校給食を児童・生徒に提供するため、各センターに調理上必要な各種検査を実施するとともに、安全及び衛生面における管理の徹底を図ります。

また、入間川、柏原及び堀兼学校給食センターを公有財産として割賦により取得し、効率的かつ効果的に運営が図れるよう、PFI 方式で維持管理を継続的に実施します。

<実績・成果等>

学校給食の施設管理として、各センター施設内外の定期的清掃・消毒はもとより、薬剤師による衛生検査、給食業務に携わる全従業員の定期的な保菌検査を実施しました。

また、入間川、柏原学校給食センターについては、PFI 方式で建設したセンター施設の取得に係る割賦分の支払いを行いました。(146,607,544 円)

堀兼学校給食センターについても、PFI 方式で建設したセンター施設の取得に係る割賦分の支払いを行いました。(75,522,150 円)

10款 6項 5目 学校給食センター費

学校給食事業

(入間川学校給食センター)

決算事項別明細書 275 ページ

予算現額	518,536,000 円		決算額	510,435,793 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	8,100,207 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			521,279,650 円	地 方 債	
	増減額			△10,843,857 円	そ の 他	
	増減率	△2.08%	一 般 財 源	510,435,793 円		

<目的>

安全かつ安心な給食を児童生徒に提供します。

<内容>

学校給食センターで提供する学校給食は、国内産食材はもとより、極力地場産物を採用し、行事食やリクエスト献立を取り入れ、安心・安全で魅力ある学校給食の推進を図ります。

また、栄養士による学校訪問や栄養指導を通して、学校のみならず各家庭における栄養バランスや食品衛生、健康増進に対する理解と認識を深めます。

さらには、入間川、柏原及び堀兼学校給食センターの維持管理を継続的に実施します。

<実績・成果等>

安全・安心な学校給食を提供するため、下記のとおり実施しました。

1 給食実施状況

- (1) 給食の実施回数 小中学校とも 185 回
- (2) 給食の提供人員 小学校 15 校 7,382 人、中学校 8 校 3,793 人
- (3) アレルギー対応食提供人員 小学校 39 人、中学校 8 人

2 学校訪問等の実施状況

- (1) 学校訪問 小学校 15 校 21 回
- (2) 栄養指導 小学校 11 校 62 時間
中学校 5 校 33 時間
- (3) 試食見学会 保護者・教員 (学校保健委員会、給食センター試食会) 11 回
延べ 1,312 人 (48 回)